

東員町の未来を考える					資料 4						
40年後のあるべき姿											
		どうあるべき	そのためのアイデア	どうなっている	その影響			どうあるべき	そのためのアイデア	どうなっている	その影響
①環境	自然	緑が豊かなままである	開発した分緑を新たに植える								
②交通				グリーンスローモビリティで買い物ができる	高齢者が買い物しやすい	⑩人		老人が元気であるべき みんなが元気であるべき	総合病院、健康増進施設、健康づくりのしくみ、家族の協力	外国人が増えている	企業誘致、自動通訳システム
				ドローンが空を飛んでいる	高齢者が買い物しやすい				高齢者と子どもが交流（企業、主婦などの協力必要）		外国人をただの労働者ではなく、文化的に交流の場を作る
				駐車場がいらない	車は全部シェア。オート運転。				老人が働く	長寿（長生き）	英語を学ぶため受け入れ
					技術の進歩、カーシェア、スマホ活用				ヴィアティンと連携		自分で寿命を決めることができる
					車不要→移動不要（AR、VR）			老人とこどもの付き合いが増えるべき	料理教室、スポ少などを通じた交流を	遠くても医療が受けられる	
					誰でも買い物にいけるようになる			外国人とうまく共生していく社会	東員町の国際化 みんなで助け合い	健康で長生きの方が増える	
				東員駅からイオンまで路面電車	自然環境にやさしい			若い人が増えている	地域の集会場を若い人がアレンジ	ロボットが介護してくれる	
					イオンが儲かる				若い人が住みたい住みやすい環境（団地の整理）		
③子ども、子育て	子ども、若い人が増えている	外国人の受け入れ						高齢者が活躍	地域内の高齢者が子どもに教える授業		
		若い人や子どもが楽しめる場所を充実			健康寿命が伸び、活動を増やす						
		若者の経済的な負担が少なく			健康をサポートする（ソフト、ハードを充実）						
		戻ってきたくなる魅力的な町に			運動、体を動かせる場所をつくる						
	子どもが多く暮らしているべき、子育てしやすい町であるべき	「教育」が大事「平和」が大事			健康寿命が100歳になっている			病院の充実、医療体制の充実（自宅治療など）			
		若者の定住促進			AIに依存しない生活						
		町ぐるみ（ご近所）で子育て			子どもを助けるシステム						
		子どもからお年寄りまで集まれる場所									
	「山車ひき」のような祭りは残すべき										
	自然は今までどおり残っているべき										
④安全、安心	災害に強いまちづくり	強い組織を構築しておく（人の力や物資など）	災害で甚大な被害			⑪歴史		住民が歴史を理解している	歴史を振り返す（北勢線沿線の魅力を探る会）		
⑫催し											
⑬文化											
⑭仕事	人が生涯現役で働いている	就労場所の確保（デンソー、トヨタ車体くらいの大企業を誘致）	通信技術の発達、テレワークが進む					人が生涯現役で働いている	就労場所の確保（デンソー、トヨタ車体くらいの大企業を誘致）	通信技術の発達、テレワークが進む	
			終身雇用は無理 案件ごとにチームで仕事								
			働き続けられるため健康サポートを充実	仕事は在宅が多い→仕事はネットでシェア							
			人口減少で高齢者の働き手は重宝								
			定年後働ける場や在宅の仕事増やす								
			老人が働ける労働環境整備								
⑮農業											
⑯観光	在来が観光地に	今ある資源を若い人に伝える	「東員町」といえばヴィアティン	ヴィアティンだけでなく他の企業や人が来るように				在来が観光地に	今ある資源を若い人に伝える	「東員町」といえばヴィアティン	ヴィアティンだけでなく他の企業や人が来るように
		今から名物を作れば40年度には定着	名産品がうまれる								
	周辺の人が観光をつくる										
⑰特産品											
⑱医療、介護											
⑲情報										技術革新で世の中が便利になりすぎている	人がついていけず心身のストレス
										地域ごとにWi-Fiスポットがある	
⑳土地利用										町の活性化 東員駅近くに市街地	人が集まる 人のにぎわい